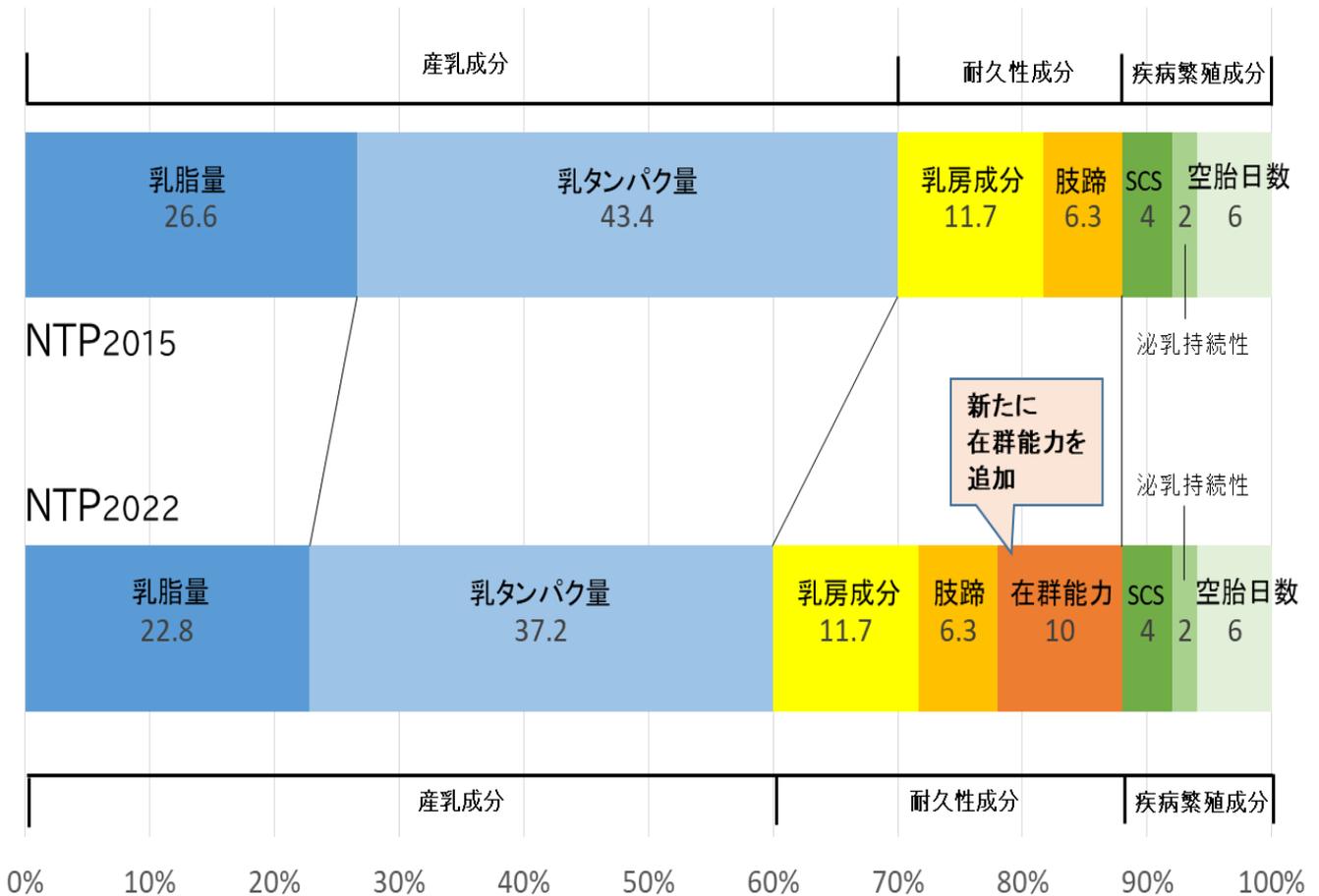


総合指数(NTP2022)で生産寿命の延長を!!



(一社)日本ホルスタイン登録協会では7年ぶりに総合指数(NTP)を改正し、2022年2月の評価から公表しました。

今回の改正では、産乳成分の乳脂量と乳タンパク量の重みを合計10%減らし、生産寿命に係る形質として、新たに「在群能力」を10%追加いたしました。「在群能力」は初産から3産の期間における雌牛の生存性を評価しており、この数値が高いほど長命であると言えます。なお、本事業による調査の結果、在群能力を高めることで耐病性形質も好ましい改良効果が得られることが明らかになりました。よって、この新しいNTP(NTP2022)の活用により、耐病性も高めながら生産寿命の延長や乳成分率の向上が期待できます。その他にも、空胎日数の延長傾向の抑制や体の大型化の速度が鈍化するなどのメリットがあります。

日本の環境にあった牛づくりのため、是非 NTP2022 を活用ください